

日本財団助成事業 京都保育福祉専門学院の改造
成果物報告書（2021年4月20日報告）

事業の目的：保育士養成専門学校、保育出張教室、並びに障がい児療育施設として活用されている京都保育福祉専門学院において、校舎を利用する学生・園児等に、より快適な教育・保育・療養環境を提供する。

事業の目標：老朽化の進む校舎内6ヶ所のトイレについて、トイレの洋式化および改造工事を行うことにより、匂い、衛生面の改善を図る。利用者がより快適に知用出来るトイレ空間へと整備することで、校舎利用者の利便性の向上につなげる。

事業の内容：(1) 1階男子トイレ工事（洋式トイレ1基の更新、小便器3基の設置）、女子トイレの追加設置工事（仕切り、ドアの設置、洋式トイレ2基の更新）
(2) 2階南側女子トイレ工事（和式トイレ2基の洋式化、小児用便器2基の設置）
(3) 2階男子トイレ工事（和式トイレ1基の洋式化、小便器2基の更新）
(4) 2階女子トイレ工事（和式トイレ2基の洋式化）
(5) 3階男子トイレ工事（和式トイレ1基の洋式化、小便器2基の更新）
(6) 3階女子トイレ工事（和式トイレ2基の洋式化）
※ 事業の内容については、次ページ以降の写真を参照ください。

施設の名称：社会福祉法人京都基督教福祉会 京都保育福祉専門学院

施設の場所：京都府京都市西京区榎原百々ヶ池3

施設の構造：鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋地下1階3階建て

助成の実績：1971年 建築 41,000千円（旧団体名：桂愛育会）
1984年 増築 72,400千円

施設建物の外見



事業の内容

- (1) 1階男子トイレ工事（洋式トイレ1基の更新、小便器3基の設置）、
女子トイレの追加設置工事（仕切り、ドアの設置、洋式トイレ2基の更新）

改造前

保育士養成施設として建てられ、当時は女子学生のみだったが、共学となって以降、既存のトイレを台石学生専用として使用していた。（湿式床面、洋式用便器）



改造後

乾式床面化 照明LED化
女子トイレ追加設置（男女別の扉）



男子トイレ



女子トイレ



(2) 2階南側女子トイレ工事（和式トイレ2基の洋式化、小児用便器2基の設置）

改造前：和式トイレ4基、湿式床面



改造後 乾式床面



改造後

乾式床面化 照明LED化

洋式トイレ2基

小児用便器2基(小便器・用便器)



(3) 2階男子トイレ工事（和式トイレ1基の洋式化、小便器2基の更新）

改造前

湿式床面

小便器



和式用便器



改造後

乾式床面化 照明LED化

小便器の更新



洋式用便器



(4) 2階女子トイレ工事 (和式トイレ2基の洋式化)

改造前 湿式床面 和式用便器



改造後

乾式床面化 照明LED化

洋式トイレ



(5) 3階男子トイレ工事（和式トイレ1基の洋式化、小便器2基の更新）

改造前 湿式床面

小便器



和式用便器



改造後

乾式床面化 照明LED化

小便器更新



洋式用便器



(6) 3階女子トイレ工事（和式トイレ2基の洋式化）

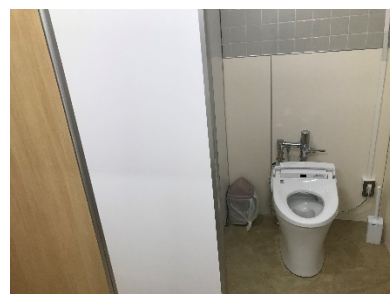
改造前 湿式床面 和式用便器



改造後

乾式床面化 照明LED化

洋式トイレ



助成表示について

旧表示：正面玄関横に表示(日本船舶振興会)



完了後：表示の変更(日本財団)

